

製品名: グランザイム B/H ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11741**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	GZMB/GZMH GZMB; CGL1; CSPB; CTLA1; GRB; Granzyme B; C11; CTLA-1; Cathepsin G-like 1; CTSG1;
別名	Cytotoxic T-lymphocyte proteinase 2; Lymphocyte protease; Fragmentin-2; Granzyme-2; Human lymphocyte protein; HLP; SECT; T-cell serine protease 1-3E; GZMH; C
遺伝子 ID	2999.0
SwissProt ID	P10144/P20718
免疫原	抗血清はヒトグランザイム B 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

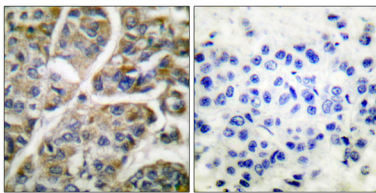
背景

この遺伝子は、セリンプロテアーゼのペプチダーゼ S1 ファミリーに属するグランザイムサブファミリーのタンパク質のメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、ナチュラルキラー (NK) 細胞と細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) によって分泌され、タンパク質分解によって活性プロテアーゼが生成され、標的細胞のアポトーシスを誘導します。このタンパク質はまた、サイトカインを処理し、細胞外マトリックスタンパク質を分解するため、これらの役割は慢性炎症と創傷治癒に関係しています。この遺伝子の発現は、心臓線維症のヒト患者で上昇している可能性があります。[RefSeq 提供、2016年9月],触媒活性: 優先切断: -Asp-|-Xaa- >> -Asn-|-Xaa- > -Met-|-Xaa-, -Ser-|-Xaa-,機能: この酵素は、細胞性免疫応答における標的細胞の溶解に必要です。Asp の後に切断する。アポトーシス誘導に関与するカスパーゼ (アスパラギン酸特異的システインプロテアーゼ) の活性化カスケードに関与していると考えられる。カスパーゼ 3、7、9、10 を切断し、アポトーシスを媒介する活性酵素を産生する。誘導: 末梢血白血球中のブドウ球菌エンテロトキシン A (SEA) による。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。グランザイムサブファミリー。類似性: 1つのペプチダーゼ S1 ドメインを含む。細胞内局在: 細胞傷害性 T リンパ球およびナチュラルキラー細胞の細胞質顆粒。、

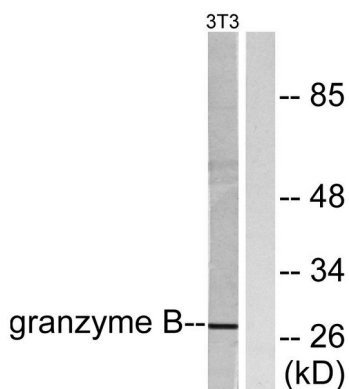
研究分野

ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性、1型糖尿病、自己免疫甲状腺疾患、同種移植片拒絶反応、移植片対宿主病。

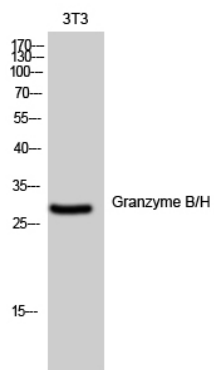
画像データ



グランザイム B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3 細胞ライセートのグランザイム B 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 希釈の Granzyme B/H ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析